



九州スペイン研究会



2021年度夏季研究大会

日時：2021年8月20日（金）10：30～

2020年はコロナウイルス流行の影響で開催を断念したため2年ぶり、また初のオンライン方式による研究大会となります。「グローバル」と呼ぶにふさわしい、さまざまな切り口からの報告を予定しています。

ふるってご参加ください！

<事前申し込みフォーム> *8月19日（木）締め切り

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdPkgsz75mQaMKSbW8T7gIHdWk2YQI563IsCG0CSqoaKUby8Q/viewform>

* Zoom会議室のURLは8月にお送りいたします。前日にレジユメ等をダウンロードできるURLもお送りする予定です。

連絡先：久留米大学畠中研究室 / esp.kyu@gmail.com

10：20～	Zoom開場, 調整
10：30～11：10 (質疑応答10分)	有村理恵（メキシコ自治大学） 「キリシタン時代のロザリオと数珠交点について」 * ビデオ報告20分+質疑応答（メキシコよりLIVE登壇）
5分休憩	
11：15～11：55 (質疑応答10分)	富田広樹（北九州市立大学） 「エレナ・ポニアトウスカ『レオノーラ』の インターテクスチュアルな戯れ」
65分休憩（昼休み）	
13：00～13：50 (質疑応答10分)	池上大祐（琉球大学） 「グアム現代史研究の現状と課題 ーアメリカ史研究、世界史教育の視点からー」
5分休憩	
13：55～14：35 (質疑応答10分)	大場はるか（久留米大学） 「17世紀モラヴィアにおける大友宗麟の描写 ー上部ドイツ管区との比較ー」
15分休憩	
14：50～15：30 (質疑応答10分)	椎名浩（熊本学園大学） 「長崎寄進状（1580年）再考 ースペイン語資料として」
5分休憩	
15：35～16：05	山下和秀（大村市歴史資料館） 「大村市歴史資料館および松田毅一南蛮文庫の紹介」
～17：00	研究会運営懇談会